

平成30年度 JOCジュニアオリンピックカップ

文部科学大臣旗争奪 彩の国杯第13回全国中学生空手道選抜大会

<大会実施要項>

- 1 大会名 文部科学大臣旗争奪 彩の国杯第13回全国中学生空手道選抜大会
- 2 主催 公益財団法人全日本空手道連盟
- 3 共催 全国中学校空手道連盟
- 4 主管 埼玉県空手道連盟
- 5 後援 スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 (公財)日本オリンピック委員会
<予定> (公財)日本武道館 日本武道協議会 (公財)笹川スポーツ財団
(公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 (公財)日本中学校体育連盟
埼玉県 埼玉県教育委員会 (公財)埼玉県体育協会 上尾市 ほか

- 6 大会期日 平成31年3月28日(木)～30日(土)

大会第1日目【28日】	大会第2日目【29日】	大会第3日目【30日】
審判会議 13:00～	競技開始 9:30～	競技開始 9:30～
監督会議 14:00～	形競技、組手1年女子1～3	組手競技
開会式 15:30～	回戦(予定)	閉会式 15:30～(予定)

- 7 大会会場 埼玉県立武道館
埼玉県上尾市日の出4丁目1877
TEL 048-777-2400
- 8 競技種目 (学年・男女別)8種目
○男子・女子 個人形(中学1年の部・中学2年の部)
○男子・女子個人組手(中学1年の部・中学2年の部)
<形・組手に重複して出場することができる>
- 9 競技規定 平成30年度4月1日より施行された(公財)全日本空手道連盟組手競技規定、形競技規定および審判規定により行う。
- 10 競技方法
 - (1) 組手競技、形競技ともトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
 - (2) 形競技について
 - ① フラッグ方式とする。
 - ② 第Ⅰ、Ⅱ指定形及び得意形は、空手道競技規定(JKF)の「付録7：指定形リスト」並びに「付録8：得意形リスト」から選択しなければならない。
ア.1・2回戦は、(公財)全日本空手道連盟第Ⅰ指定形とし、繰り返してもよいものとする。
イ.3・4回戦は、(公財)全日本空手道連盟第Ⅱ指定形とし、繰り返してもよいものとする。
ウ.準々決勝以降(5回戦以降)は自由形とし、繰り返してもよいものとする。
ただし、1～4回戦で用いた形は使用できない。
 - (3) 組手競技について
 - ① 6ポイント差とし、競技時間は1分30秒フルタイムとする。
 - ② 安全具は、(公財)全日本空手道連盟検定の拳サポーター(赤・青)、ボディープロテクターニューメンフォー(V～Ⅶ)、シンガード・インステップガード(色：白のみ)
(全空連：ミズノ(株)、(株)東海堂、(株)ヒロタ、(株)守礼堂の各社製)、
男子はファールカップを装着すること。

※高体連用のシンガード・インステップガードは使用できない。

- (4) 赤帯・青帯は、(公財)全日本空手道連盟で検定された帯を各自必ず持参し、使用すること。
※氏名、所属等の表示を認める。所属の表示は、「全日本空手道連盟」または「都道府県空手道連盟」、「所属中学校名」とすることが望ましい。 ※帯止めは使用しない。
- (5) 服装について
- ① 選手は、競技規定にそった清潔な白の空手着を着用すること。
胸マークは各都道府県名(15cm×7cm程度)を標記した規格のものを、左胸に硬く縫着する。色は黒色とする。
左袖の都道府県名は白の布で隠すこと。
上記の他、氏名、ラベル以外の表示は認めない。
ゼッケンは事前に郵送されたものを競技開始までにしっかり背中に縫いつけること。ゼッケンのないものは失格とする。
 - ② 監督は、全空連指定ジャージ(新旧問わず)とする。監督用IDカードは、監督会議において交付する。
 - ③ 監督、選手は品位ある態度で競技に臨むこと。選手は、染髪および脱色、ピアス、過度の空手着の変形等、競技者としてふさわしくないと判断された場合、参加を取り消す。
※空手着上衣の腰部の紐は結ぶこと。空手着上衣の胸部の紐はつけない。
※今年度の大会は、空手着メーカーの指定はしないものとする。

11 表彰

- (1) 文部科学大臣旗の授与について
- ① 文部科学大臣旗を都道府県の入賞者の得点により男女別に授与する。得点は、国体方式とし、1位8点・2位7点・3位5点(2名)・5位2.5点(4名)とする。
 - ② 総合得点により同点の場合は、優勝者数の多い都道府県を上位とする。
 - ③ さらに同内容の場合は、同順位とする。
 - ④ 前回優勝都道府県は、開会式において優勝旗を返還すること。返還時にレプリカを与える。
- (2) 各種目ベスト8進出選手を下記の通り表彰する。
〈優勝1名、準優勝1名、第3位2名、第5位4名〉
- (3) 上記選手は、表彰式に必ず参加すること。

12 審判員 大会審判団は、(公財)全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

- (1) 各都道府県より推薦の公認全国組手審判員(1~2名)を大会審判員に委嘱する。なお、選手が参加する都道府県は1名以上の審判員を推薦すること。
※推薦審判員は、公認形審判員資格(地区以上)を有していることが望ましい。
- (2) 各都道府県より推薦の審判員に係る経費は、大会実行委員会では負担しない。
- (3) 推薦審判員は、出場申込書(その1)に記入し参加申込みと同時に提出する。
- (4) 大会審判員に不足が生じた場合は、開催地区協議会から選出し委嘱する。

13 参加資格

- (1) 選手は、所属する中学校所在地の都道府県中学校空手道連盟または都道府県空手道連盟を通して、(公財)全日本空手道連盟に登録している会員であり、(公財)全日本空手道連盟公認段位級位を保有していること。
- (2) 所属する都道府県中学校空手道連盟または都道府県空手道連盟の主催による予選会において選抜された選手またはそれらの連盟の承認を受けた選手であること。
- (3) 監督は、(公財)全日本空手道連盟に登録している会員であり(公財)日本スポーツ協会公認空手道指導員以上、又は地区組手審判員以上の資格を有するものであること。
(参加申し込み、必ず監督名を記入すること。)

14 出場制限

(1) 各都道府県の参加数は、下記の通りとする。

性別	種目	学年	都道府県参加数	監督
男子	組手	中学1年	3名	1名
		中学2年	3名	
	形	中学1年	3名	
		中学2年	3名	
女子	組手	中学1年	3名	1名
		中学2年	3名	
	形	中学1年	3名	
		中学2年	3名	
合計			24名	2名
都道府県合計			1128名	94名

15 参加料 1人1種目 4,000円 とする。

16 参加申込

(1) 申込方法

各都道府県空手道連盟が取りまとめて、大会事務局よりメールで送信したデータファイルに必要事項を打ち込みメールで提出するとともに（メールがない場合はこの限りではない）、文書にて下記の大会事務局宛に送付する。なお、払込請求書兼受領書のコピーを参加申込書と共に同封のこと。

(2) 申込先

<p>＜彩の国杯 全国中学生空手道選抜大会事務局＞ 〒336-0917 埼玉県さいたま市緑区芝原 3-37-6 内田 秀男 Tel 048-712-2899 fax 048-712-2898 Eメール uchidazoendoboku-001@jcom.home.ne.jp</p>
--

(3) 申込期日

平成31年1月12日（土）締切厳守

(4) 振込先 ※参加料は必ず都道府県より一括してお振込み下さい。

銀行名	武蔵野銀行 東浦和支店
口座番号	普通 1117463
口座名義	彩の国杯 全国中学生空手道選抜大会 会計 内田秀男

17 抽選 (公財) 全日本空手道連盟の立会のもと実施致します。

18 宿泊申込

大会中の諸連絡を徹底するため、別紙案内の指定旅行者による指定宿泊施設を利用すること。

株式会社 JTB 埼玉支店

担当者 森本・吉村

電話 048-649-5255 FAX 048-649-0746

詳しくは別紙を参照願います。

19 傷害処置及び対策

- (1) 選手は、本大会前1週間以内に各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を受けておくこと。また、本大会には必ず健康保険証を持参すること。
- (2) 参加選手は全員スポーツ傷害保険に加入していること。また、「日本スポーツ振興センター」の適用に関しては、事前に学校に校外活動の申請をしておく必要がある。万が一事故があった場合は必ず学校に届け出ること。
- (3) 傷害保険は、主催者側が参加選手全員に主催者負担で加入手続きをする。
- (4) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置をするが、その後の責任は負わない。

20 問い合わせ

申込み、大会概要に関する問い合わせは、

＜彩の国杯 全国中学生空手道選抜大会実行委員会＞

〒336-0917

埼玉県さいたま市緑区芝原 3-37-6

内田 秀男

Tel 048-712-2899 fax 048-712-2898

Eメール uchidazoendoboku-001@jcom.home.ne.jp